

# 青陵

## ごあいさつ



校長  
田中 尚  
(同窓会名誉会長)

### 日本を支える リーダー育成

同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝のことと拝察申し上げます。また、平素から母校へのご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年の参院選には初めて高校生が参加しました。深刻な少子高齢化社会の中で、若い世代が担う役割の比重はこれまで以上に大きくなっています。とりわけ、将来、どのような場でも「リーダー」としての活躍が期待される青陵生には、必然的に大きな責任が求められます。青陵高校は使命感をもって「日本を支える未来のリーダー育成」に取り組んでいきます。

同窓会の皆様におかれましては、母校青陵高校へのより一層の応援をよろしく願っています。会員の皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

## ごあいさつ



同窓会副会長  
徳田 政太郎  
(35期)

### 国内外、各分野での 活躍に敬意

同窓会会員の皆様には、平素より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、国の内外、各分野におけるご活躍に深く敬意を表します。

家政科と総合選抜制の廃止、中学区制への移行と、母校の姿と環境が大きく変化してきました。そうした中、教職員の皆様と在校生の努力により県内随一の進学実績を挙げ、部活動においても全国大会や中国大会でめざましい活躍を遂げていることを、同じ「永遠の理想を追求する青春の陵」に集い学んだ者として大変誇らしく思っております。

今後とも加川会長を支援、同窓会活動の進展と母校の発展に微力ながら力を尽くしたいと存じますので、皆様におかれましては一層のご支援をよろしく願っています。



# 同窓会本部総会

(平成28年8月7日、倉敷アイビースクエア)

30期 中田 秀 哉

よる素敵なアンサンブルを会場内に響かせ、温かい拍手が送られました。  
同窓会の加川英郎会長(4期)、田中尚名誉会長(校長)のあいさつに続き、議事では平成27年度の行事・決算、28年度の行事・予算を承認。事務局からは、熊本地震で大きな被害が出た南阿蘇村に対し、義援金10万円を贈ったことが報告されました。

## 熊本の被災者に義援金

今年当番幹事の「0」と「9」の付く期を中心に総勢約300人の同窓生が和やかに懇親を深めました。  
今回、恩師として永井裕(18代校長)、小山裕章(音楽)、福島隆壽(美術)、水間正雄(保健体育)の4人の先生が元氣な姿を見せてくれました。  
総会に先立つセレモニーでは、現役の吹奏楽部員がフルートやサクソフォンなどに

## 本部だより

加川会長ら同窓会本部役員・来賓と田中校長ら学校側の方々



東京、近畿、九州の各支部からの活動報告などに続いて懇親会に移り、各テーブルでは懐かしい高校時代に思いを馳せながら近況を話し合い、変わらぬ友情を確かめ合う同窓生の姿があちこちで見られました。  
会の終盤では、恒例により当番幹事の期ごとに集合写真を撮影。出席者全員で校歌を高く、当番幹事を代表して小山博通氏(10期)があいさつ、副会長の今岡道雄氏(13期)の閉会の言葉で締めくくりました。  
来年以降も総会が盛大に開かれることを願っています。

## 青陵高校 天文台

昭和50年、正面校舎の屋上に設置された。高さ、直径ともに4m。望遠鏡の直径25cm。天文部員約50人が新入生

### 〈表紙の写真〉

歓迎観望会、3年生サヨナラ会、月見、ふたご座流星群観望会などの活動に利用する。部員の中から「星のソムリエ」小林祐子さん(51期)らを生む。県立高でほかに天文台があるのは水島工、高梁高のみである。

## 参加者ひとこと

\*石井陽二さん(19期)  
「今年の当番幹事で、初めて出席しました。部活は地学部です。大学で始めたマンドリンを20年続けています。同期3人で児島のお雛巡りのイベントにもう10年以上出演していますよ。仕事は織物会社を経営、3代目の社長です」(倉敷市在住)

\*田中 薫さん(40期)  
「乾杯の音頭をしました。最初決まっていた人がね、上がり症で私に回ってきたんですよ。無難に? いやあ、緊張しました。当番幹事で、同期20人と一緒に初めて参加しました。OBの父(穰さん)が毎年夏出かけていたのはこれかな、と今日思いました。部活は新体操部でした。専業主婦で息子を1人育てています」(倉敷市在住)

\*野間一志さん(67期)  
「今年卒業したホヤホヤのOBで、同期5人と出席しました。徳島大学理工学部に進学しています。部活の陸上部では中長距離で岡山県大会に出場しました。電気電子コースなので将来はロボットの設計・組み立てをするエンジニアを目指しています」(徳島市在住、倉敷市出身)

## 賛助出演



総会を盛り上げてくれた現役吹奏楽部員の華麗な演奏

## 9期



## 10期



## 19期



## 20期



## 29期



当番幹事さん ご苦労さま



— おかげさまで今年も300人 —



30期



39期



40期



今年春卒業したばかりのホヤホヤの67期

## ますます元気

倉敷で会社経営の傍ら商工会議所活動やまちづくり事業など地元倉敷の発展に幅広く取り組む羽島の倉敷製帽(株)会長・岡荘一郎さん(10期)に、多忙な合間を縫ってインタビューしました。(聞き手は編集委員)

### 倉敷製帽(株)会長・岡荘一郎さん(10期)に聞く

製帽(株)



「経営上、心掛けていることはありますか。」  
 数十個という小口注文にも応じられるよう、各種素材生地1,000本以上を常に用意しています。熟練の技を持つ職人をそろえ自信作を提供します。創業以来のこだわりは納期厳守ですね。  
 「倉敷のまちづくりににも尽力されています。」  
 倉敷市文化振興財団理事長のほか倉敷まちづくり株式会社社長の社長として、100年も途絶えていた「屏風祭」を復活。江戸期からの旧業種商家を「林

## 進学を断念、在学中から家業

「何事も積極的な岡さん、青陵時代のクラブ活動は何か。」  
 実を言うとね、父が体調を崩して私を崩して私

2年生から今の仕事をしてたんですよ。クラブ活動どころではなく早々と進学をあきらめ、点数を計算しながら単位をギリギリ取って卒業と同時に仕事に専念しました。男子で進学しなかったのはほんの少数でした。ところで、「林源十郎商店」は斎藤隆、「奈良萬」は藤原昭一という私の同級生で、それとの関係者2人のおかげで成功した事業です。斎藤とは40年ぶりに同窓会で会ったのがきっかけ。同級生はありがたい(笑い)。  
 「会社経営はもうろん、全国に誇る観光都市・倉敷のさらなる町おこしに貢献、ご活躍ください。お忙しいところ、ありがとございました。」

## 国内随一 作業用帽子メーカー

「経営する倉敷製帽は業績が安定していますね。」  
 父が創業して63年、生産品をワーキングキャップ(作業用帽子)に絞って50年、父から社長を受け継いで30年今は会長です。おかげさまで国内トップメーカーに成長しました。精密機械工業の作業員の帽子を中心に国内5工場年間200万個を生産。代理店を通じ全国で販売、10億円の売上高があります。青陵の制帽も作ってたんですが昭和50年代で廃止になりました。運動帽は今も納品してま

源十郎商店」老舗旅館を「奈良萬の小路」として再生させました。  
 「地域でも重要な役割を果たされました。」  
 「小中学校のPTA会長を10年ほどやりました。多津美中学校の生徒数が膨張して分離問題が起きました。まだ校舎の耐用年数が十分あり倉敷市教委が渋りましたが大変な手抜き工事が発覚したおかげもあり、なんとか説得して新田中学校の新設にこぎつけました。倉敷商工会議所は副会頭を2期、会頭を1期やりました。天満屋移転、チボリ公園廃園など大きな課題に直面しました。」

## 17期 岡部 博吉

私は昭和38年の入学です。その1年前から天城高校との総合選抜が始まりました。どちらの学校に振り分けられたかの発表が中学校であり、みんな不安な気持ちで見に行ったのです。それまで誰でも普通科は青陵と決まっていたからでした。当時、涙して入学日まで「天城には行かない」という人もいたようです。さて、今思い出せばユニークな先生がたくさんいました。倫理の渡辺先生は夏になると突然お坊さん頭になって顔を赤らめて教室に入ってくるのです。この先生の授業を聞いて、博学

## ユニークな先生がいっぱい

な人とはこういう人を言うのだと知ったのです。美術の小森先生は2校時連続のうちの半分は人生についての話をしてくださいました。時には涙を流しながら「君たち一生懸命生きなさい」と言われ、私はしんみりと聞き入ったものでした。あのバレーボールの東洋の魔女ならぬ、青陵の魔女武田小夜子先生は「背は高いのに名前が小さいんです」と自己紹介。学校の外の世界について批判的な見方を披露され、そういう見方もあるのだと、新鮮な気持ちで聞きました。

化学の渡辺先生は二十代で赴任され、当時一番若い先生で親近感を持ったものでした。数学の守屋先生は体中から汗をたら

## 私の青陵時代



モロッコのシェフシャウエン「青の街」の旅=平成26年

たらと流しながらの熱心な授業でした。保健体育の中原先生は、男気のある面白い授業でした。3年の最初、稲田先生は国語の授業で、黒板に「稚心を去れ」と大きく書いて話をされたのでした。「大人になりなさい」という意味ですが、今でも忘れられない一言です。

今こうやって文章を書いていると、人間を育てようという当時の熱い思いの先生方が次々と懐かしく思い浮かんできました。

その後、教員になった私は「いつか母校で教壇に」という思いが実り、平成14年から5年間、教鞭をとったのでした。時代は変わり学校も生徒も変わる中、生徒本位の教師であろうと努めた三十数年間、この母校の勤務を最後に退職しました。「さよなら」をお別れの言葉にして…

最後に私の趣味ですが、大学時代に1年にわたり世界各国を遊学しました。その後も機会あるごとに外国へ出かけ、退職後は毎年3カ国をツアーないし一人旅をしています。これまでに訪れたのは60の国・地域に上ります。

□…岡部さんは母校青陵や操山など岡山県内普通科5校の理科(物理)教諭を務めました。岡山市在住。



# 東京青陵会

(平成28年6月25日、東京・明治記念館)

40期 藤井達也



抽選会とお土産で盛り上がった東京青陵会のメンバー

東京青陵会総会が今年も例年通り開催されました。当日は梅雨真つた中でしたが天気にも恵まれ、総勢1000人を超える参加者が一堂に会しました。ご来賓として、母校から田中学校長と林先生のお二人、本部同窓会から加川会長と武部副会長のお二人、恩師の竹井先生(生物)、赤木先生(英語)、永山先生(国語)のお三人、倉敷市東京事務所の妹尾所長をお招きし、それぞれ登壇していただきました。

総会は、会長挨拶、会計報告ならびに承認に続き、懇親会がスタートしました。ご来賓のご挨拶で田中学校長から母校の後輩の活躍ぶり、加川同窓会会長から同窓会の今後についてお話いただき乾杯。恩師3人、さらに倉敷の発展状況についての妹尾所長のお話を聞きながら会食しました。2年前の企画をバクつた(汗!)出身中学校別による席替え、40期当番幹事の企画、最後に25期武本さんの指揮による陵歌・応援歌・校歌の合唱と続きました。40期当番幹事の企画は、まず、昨年の総会の「じゃん

## 倉敷尽くしの景品、土産大好評

けんイベント」を参考に抽選会を実施。和太鼓ドラムロールの粋な演出をバックに、倉敷帆布のブックカバーや倉敷ガラスの小鉢セットなど倉敷ゆかりの景品10点を10人にプレゼントしました。さらに、ソウルフードである梶谷食品のシガーフライ、岡山インスタント麺のクルードスパゲティ式めんを全員に、橘香堂のむらすゝめを20人にお土産としてお持ち帰りいただきました。景品もお土産も懐かしの倉敷尽くし。おかげで、どちらの企画も倉敷在住の方には、たぶん理解できないと思うほど盛り上がり大成功でした。

東京青陵会があるおかげで、忙しさにまかせて疎遠になっていた同期十数人が互いに連絡を取れるようになりました。今後は我々40期一同が東京青陵会の発展に貢献できるように恩返しする番だと思っています。

最後になりましたが、ご来賓ならびに恩師の皆様、総会運営に当たりアドバイスをお願いした役員をはじめ諸先輩方、特に前年度当番幹事39期の皆様、お土産配布のアドバイスをいただいた妹尾所長、会場スタッフの皆様、心よりお礼を申し上げます。

## 支部だより

## 東京青陵会を軸に交流活発

東京には東京青陵会とは別に、5期の集い「東京五陵会」、さらには15期の集いがあります。東京五陵会は17年前から毎年4月、1泊旅行をして旧交を温めています。平成28年4月には関東在住のほか倉敷、岡山、関西から計27人が参加。東京スカイツリーの展望デッキから素晴らしい眺めを堪能しました。翌日は靖國神社に参拝し遊就館を見学。ホテルでランチをしてから「元気で来年も」と再会を約束しました。□：山陽新聞同年8月26日付「集い」の記事(中村泰さん)に加筆しました。



山本徹君の送別会に集まった東京の15期生(平成28年3月)

## 東京五陵会は17年、15期の集い30年以上

トしました。昨年は10月に古希記念の那須高原への1泊の小旅行を企画し、有志10人が参加しました。今年3月にこの会の運営に多大な貢献してくれた山本徹君が岡山へUターンすることになり、急きよ新宿の「大志満」で送別会を開き、19人が出席しました。会を重ねると話題も老々介護、健康問題などになりがちですが、いままでも苦楽を乗り越えてきた力で次回東京オリンピックをみんな元気に迎えようと誓い閉会しました。□：15期の集いは30年以上続く伝統ある同期会で、毎年春に定例会を開いています。

## 寄託 倉敷市へ小野誠英さん(20期)

大学進学を目指す人に役立ててと、小野誠英さん(20期)＝神奈川県川崎市在住＝が平成28年7月、倉敷市へ500万円を寄託しました。



市に500万円を寄贈

小野さんは倉敷市出身で現在、三菱総合研究所(東京)の副社長を務めています。

小野さんは「奨学金の返済に苦労しているという話をよく耳にします。倉敷の若い世代の助けになれば…」と、伊東香織市長に目録を手渡しました。市長から「ご厚志をしっかりと受け止め、教育支援に使わせていただきます」との言葉があり、感謝状が贈られました。

## 大学進学の一助に500万円

小野さんは高校生に「社会に出ていく基礎となる学力をしっかりと身に付け、自分の道を切り開いてくれることを願っています」というメッセージを送っています。

□…参考 7月16日付山陽新聞/小野さんは8月、倉敷市から「G7倉敷宣言推進会議」の委員に委嘱されました。倉敷宣言の実行に向けた提言活動を行います。

倉敷市へ500万円を寄託した小野誠英さんの新聞記事





近畿一円から一堂に集った元氣な青陵同窓生

## 29期 守安明義

今年の近畿青陵会総会は、来賓の田中尚校長、同窓会本部・加川英郎会長（4期）、今岡道雄副会長（13期）、恩師の渡邊重吉先生（数学）をはじめ総勢83人の参加をいただきました。担当幹事（19期、29期、39期）一同、ご出席くださった皆様によりお礼申し上げます。

総会は森本有子さん（29期）の軽快な司会で始まりました。開会の挨拶を近畿青陵会・大水勇会長（14期）が行いました。会計報告を大月修会計幹事（19期）、監査報告を御手洗伸子会計監査（30期）にさせていただき、いずれも承認されました。

懇親会の部では、まず田中校長より母校の高い進学実績やスポーツ・文化クラブ活動実績などを報告いただき、頼もしく感じました。加川同窓会会長からは、全会員へ「同窓会だより」を送付し、同期会やネットワーク交流を活発化させることに注

## ゲスト映画監督のこぼれ話聞く

力しているとのこと挨拶をいただきました。そして、今岡同窓会副会長のご発声による乾杯の音頭で宴がスタート。今年はより懇親を深めるべく従来のテーブルでの料理の他、ピュッフェスタイルも取り入れました。

歓談中には、渡邊先生から母校の近況と当時の教え子について大変ウイットに富んだお話をいただき、会場は大変盛り上がりしました。今年の企画として、小宮久幸さん（24期）のご紹介で岡山市出身の大森青児監督から「映画・テレビこぼれ話」と題し、映画やドラマ制作の面白いお話をいただき、同監督が昨年高梁市で撮影し6月公開の家族の絆を題材にした映画「家族の日」のプロモーションビデオの上映がありました。

その後、14期中務幸雄さんのミュージカル参加のお話等、各テーブルからスピーチをいただき、本当にあっという間に楽しい時間が過ぎました。

恒例の校歌斉唱、担当幹事謝辞、次期幹事紹介と続き、最後に近畿青陵会・白神宏之副会長（26期）より閉会の挨拶をしてお開きとなりました。では、また来年お会いしましょう！

## 参加者ひとこと

### \*小野安夫さん（19期）

「20年以上前からほぼ毎回出席しています。今年は名ばかりの幹事でした。青陵時代は理系クラスで化学部の幽霊部員？でした。大学の建築学科を出て建設会社に勤務。マンションや工場の設計をしました。今も財団法人の技術センターに勤めています。阪神大震災の震度7を体験しました」（神戸市在住、倉敷市出身）

### \*澤田（旧姓五十嵐）圭子さん（30期）

「近畿青陵会の30期の代表幹事なのでほぼ毎年出席してます。女性の同期が大勢いて今年も6人参加しました。在学中、一番の思い出は青陵祭です。映画『スター・ウォーズ』の仮装とフィナーレのファイアーStormで盛り上がった陵歌は今でも覚えています。クラブ活動はしていませんでした。専業主婦で、子ども2人は社会人です」（滋賀県大津市在住、倉敷市出身）

## 祝 日本学士院賞と恩賜賞 森和俊京大教授(28)ダブル受賞

### 「恩師の言葉で研究者の目標到達」

倉敷市、山陽新聞、岡山県 郷土でも顕彰ラッシュ



森 和俊 教授

世界的な分子生物学者でノーベル賞候補の京都大学大学院教授・森和俊さん（28期）が平成28年6月27日、優れた業績を挙げた研究者に贈られる学術賞の最高峰・日本学士院賞と恩賜賞をダブル受賞しました。恩賜賞はその年の日本学士院賞受賞者の中から最高位の一人に贈られます。授賞理由は「細胞内の小胞体と呼ばれる小器官で壊れたタンパク質を修復する仕組み（小胞体ストレス応答）を解明した」というものです。授賞式は東京・上野の日本学士院会館で、天皇皇后両陛下ご臨席のもとに開かれ、受賞者9人が出席。森さんに恩賜賞（賞状と賜品・御紋付き銀花瓶）と日本学士院賞（賞状、賞金100万円）がダブルで贈られました。日本学士院賞は明治44年から毎年、対象者に贈られる一〇〇年を超える歴史のある賞です。これまでに野口英世

## 残るは文化勲章とノーベル賞のみ！

をはじめ、のちにノーベル賞を受賞する湯川秀樹、朝永振一郎、江崎玲於奈、山中伸弥の各氏ら日本を代表する多くの世界的研究者が受賞しています。第106回となる今回の受賞者、森さんは「背水の陣でアメリカに留学、『小胞体ストレス応答』と出合った27年。ついに学者・研究者の目標に到達しました。私が京大大学院の研究室を巣立つ時に『学問をしろよ』と、はなむけの言葉をくださった恩師の山科郁男先生が泉下でお喜びになつておられると思います。これを励みにさらに精進し研究を高めていく所存です」と、喜びを語っています。この研究は以前から高く評価され、これまでに大阪科学賞、ガードナー国際賞、朝日賞、紫綬褒章などのほか、平成26年には米国で最も権威のあるノーベル賞への登竜門・ラスカー賞を受賞。同賞受賞の後、郷土では倉敷市民栄誉賞、山陽新聞賞、岡山県文化特別顕彰と3年連続の顕彰ラッシュとなつています。残るは文化勲章とノーベル賞だけとなりました。森さんの益々のご活躍をお祈りします。



## 寄稿

私は結婚と同時に九州に居住し、心理学を学ぶために三十代で九州大学大学院に進学、2年前まで長崎の私立大学に勤務しておりました。退職後も臨床心理士（カウンセラー）の仕事は継続しています。

臨床心理士の仕事は非常に範囲が広く、相談者の悩みを整理しながら本人自身が問題の解決ができるように援助するのが基本です。「カウンセラーに相談すれば何とかしてもらえると考える人が多いのですが、自分自身で自らの問題に向き合う姿勢がなければ効果もなく解決はできません。

相談の中では「対人関係がうまくいかない」という訴えが多く、自分の対人行動の在り方を振り返ってもらうことから始めます。すると、自らは何の努力もしないで相手に要求ばかりしている自分の傾向に気づくことが多いのです。

人間関係は自ら育てていくもので、良い関係を維持していくためには、ある程度の努力と工夫が必要だということに気が付き、自分のコミュニケーションの在り方を変えていくと、不思議と周囲の人間関係に良い変化が現れます。「ありがとう」「ご苦労様」「お疲れ様」等、相手を思いやる言葉を多用するのです。

## 幸せは「良い人間関係」から

## 臨床心理士25年

18期

藤原 珠江



これらを情緒的コミュニケーションといえます。

人間の幸せの条件にはいろんな視点があります。心理学では、適度なお金があれば「やりがいのある仕事（ボランティアも含めて）」にプラスして、特に「良い人間関係」が必要だといわれています。自分の人間関係の在り方を今一度振り返り、情緒的コミュニケーションを意識的に用いて、身近な人たちとの関係を枯らさないように心掛けてください。人生の後半生は、孤立しないためにも温かい人間関係を豊かに保つことが特に大切です。

同窓会は青春を共有した仲間たちと接触できる貴重な機会です。積極的に参加して絆を深め、友人の輪を広げていきたいですね。

□…藤原さんは岡山大学農学部を卒業後、九州大学教育学部へ。大学院時代の43歳で臨床心理士資格を取得。博士課程を修了後、福岡の市役所や企業、大学でカウンセラーをした後、50歳から長崎純心大学・大学院で教授を務めました。1男1女の母です。倉敷市出身、福岡市在住。

**臨床心理士** 心の病や悩みを持つ患者と対面し、言語的、行動的に心の健康回復を支援する専門家。指定の大学院修士課程を修了後、(財)日本臨床心理士資格認定協会の資格審査に合格した人。昭和63(1988)年に制度が発足して28年。藤原さんは初期の資格者である。

## 九州青陵会

(平成28年10月8日、福岡・西鉄グランドホテル)



九大生の就職決定などで盛り上がった九州青陵会のメンバー

## 64期 阪上 美由紀

九州青陵会に参加させていただきました。今年は少し参加人数が少なく学生は私一人でしたがその分、先輩方一人ひとりからこれまで以上にゆつくりとお話を伺うことができ、有意義な時間を過ごせました。私は現在大学4年生。来春は東京に就職、学生として九州青陵会に参加させていただきます。今年が最後でした。思えば初めてこの会に参加させていただいた

が1回生の秋。あの頃は九州のことも大学のことも何も分からず不安でいっぱいでしたが、懐かしいくつもの心よりどころとしての青陵高校の先輩方とお会いできるとわくわくしました。年に一度の顔合わせではありますが、4年生となった今は先輩方の中に顔なじみの方も多く、優しく声をかけてくださったりお気遣いをいただきました。高校の先輩方といった気持ちでお話させていただける温かい居場所、貴重で大切な時間だったと思います。九州の学生の皆さん、ぜひ九州青陵会に参加してみてください。副校長先生や会長様をはじめ、先輩方のお話を聞かせていただくことで青陵高校の諸先輩方の活躍や青陵の歴史を知ることができました。素晴らしい多くの先輩方や先生方、周りの皆様のおかげで私たちの高校時代があつてそして、そのパトンが繋がれていることを実感することができました。ありがとうございました。

## 校史、先輩の活躍ぶり知る

## 初参加者や遠く倉敷からも

同窓会長加川英郎さん、副校長池本康彦先生、同窓会事務局林俊輔先生がご来福くださり、記念すべき第10回を開きました。会は九州青陵会長溝手博義さん(8期)の挨拶、副会長平野善次郎さん(20期)の乾杯の音頭で始まりました。今回は平野さんや事務局局長加藤榮一さん(20期)と同期の江嶋正行さんが初参加。同じく同期の佐々木秀章さんは今回も倉敷から参加してくれました。席上、「今年はお席者一覧の上から2番目になりました」とスピーチした白髪洋輔さん(12期)。実は37歳年下の奥様と再々々婚したとの驚きの発表がありました。桐野紘武さん(13期)は岡山と福岡で会社を経営されています。松ヶ下恒夫さん(19期)は「恐れられていた? 青陵時代を振り返ると、地区のバトロールボランティアをしている自分が不思議」と熱く語ってくださいました。めでたく希望通りの就職が決まった九大生阪上美由紀さん(64期)は3回目の出席で、来年は東京青陵会

に参加することです。池本副校長から流暢な英語のお祝いスピーチを頂戴しました。今回は九大生があと二人参加の予定でしたが、結局連絡がなく…。加川会長が「九州は必ず新入生が参加するんだが…」との言葉に、昨年まで4年間毎年参加、財務省へ入省した角田晃三君(63期)が熱心に先輩方のお話に耳を傾けていた姿を思い浮かべました。ちょうどノーベル賞発表の真っ只中。受賞はなりませんでしたが、京都大学教授森和俊さん(28期)が話題ののぼりました。また、私の同期で岡山県議会議員渡辺英気さんが中心となつて陸歌復活のお世話をしている。との情報が入りました。青陵のニュースをここ福岡まで届けていただき大変嬉しく懐かしく思います。なお、毎年参加くださる長崎市在住の近藤覚(19期)敏子(20期)ご夫妻は今回急ぎよ欠席されました。また、北九州市の阿部(旧姓木曾)玖実子さん(6期)からは今回も参加できないとの丁寧なお手紙とお祝い金を頂戴しました。心からお礼申し上げます。皆さまのご健康とご多幸を祈念いたします。□:喜多村さんは九州青陵会会計担当です。

## 26期 喜多村(旧姓貞原) 真美



「この矢掛町は江戸時代の本陣と脇本陣がセットで残る旧山陽道の貴重な宿場町として有名なんです。」きれいに整備された矢掛の目抜き通りで、女性ボランティア観光ガイドのよく通る軽やかな声が響きます。



着物姿で日傘を差しボランティア観光ガイドを務める福田京子さん。岡山県矢掛町産業観光課提供

女性は第二の人生は故郷(倉敷)に近い矢掛で、住み慣れた大阪から夫と一緒に1ターンのして4年になる福田(旧姓片岡)京子さん(22期)です。年間観光客数22万人を超える岡山県矢掛町が平成28年、町の魅力を観光客に分かりやすく伝え、にぎわいづくりを創出するため初めて「やかげ町並案内人」を募集。第1期生に応募したのが福田さんです。2月に始まった養成講座で、ボランティアガイドの役割や宿場町の歴史を学び、目玉の矢掛本陣や先進地の視察をこなし検定を受けて修了証をもらいました。

## ○ 矢掛に帰り観光案内 ○

似合う着物姿で30〜50分程度、ユーモアや大阪弁を交えながら案内します。人数は数人、多い時は30人ぐらいいです。福田さんは県内で新見市商(現新見高校)など公立高校、結婚と同時に上阪し私立高校で、いずれも保健体育の先生を約30年務め、人前でしゃべることは慣れていますが、苦勞もありました。

「何気なくしゃべった一言が治道の民家の住人の気に障り、クレームを付けられてね。また視覚障害の人への説明は難しいですね」と言いながらも「私、声が大きいのでマイクは使いません。用意された法被よりも着物。メンバーが実質7人しかいないから足りない。間もなく始まる第2期講座で仲間が増えてほしいです」と、やる気満々です。実は福田さんの父は会社勤めを定年退職後、全国で先駆けて倉敷地区ウエルカム観光ガイド連絡会を立ち上げた人。倉敷美観地区で育ち、思い入れが強かったといえます。

「最初、県の振興局や倉敷市役所に相談したら『そんなことでしょ』と門前払い。けんかしながら説得して組織を発足させ理事長になりました。テレビや本に登場し、全国から講師に招かれるなど亡くなるまで二十数年活躍しましたね。ガイド二世? いえいえ父の影響はありません」と、朗らかに話してくれました。

## 亡父は全国のガイド生みの親

福田(旧姓片岡)京子さん (22期)

後藤(旧姓佐々木)美智子さん (32期)

## ますます元気

## ○ 書道5年、

## 吳昌碩を学ぶ ○

得ていますが、「人を教えるにはまだ力不足。もっと深く極めたい」と、引き続き毎日通学して主に漢字の腕を磨いています。中国の書画家・吳昌碩を臨書して書風を会得。万葉集を題材に作品を仕上げています。

指導する同専門学校校長の澤田さんは「時間をうまくやり繰りしてよく頑張っていますよ。男性のような力強い書体。字は性格を表すので(性格が)目に見えようです」と笑いをながら話すと後藤さんは「男っぽいですか?」と、毎日、白い紙に無の境地で向かうことで、心の余裕と落ち着きが出てきました。書道展にもよく出かけて勉強しています」と神妙に答えていました。実際に器用な人。今は書が中心ですが、ほかにもステンドグラス、レザークラフト、水墨画などまるで「芸術十種競技」のように次々取り組む後藤さんは、あっぱれ! です。

平成28年1月に山陽新聞賞を受賞した澤田虎遊(眞示)さん(21期)が運営する関西書道専門学校(早島町)で、書の世界に魅了され連日精進している人がいます。澤田さんの後輩で32期の後藤(旧姓佐々木)美智子さん(倉敷市中央)です。

後藤さんは育児の傍ら、ツールペイントやフワーアレンジメント、陶芸など芸術と幅広く取り組み、指導資格を持つジャンルもあり、5年前に書の世界に挑戦。同専門学校に入学、専攻科まで3年間学んで師範の免状を取得しました。雅号は名前の一字を取り、華道の華名と同じ「美風」を名乗っています。

岡山県展や読売書法展に連続入選、日本書芸院展一科推薦賞など受賞を重ねて一定の評価を得ています。



## 器用に「芸術十種競技」

真剣に吳昌碩を臨書。作品に仕上げる後藤美智子さん(関西書道専門学校)

## こぼれ話

「あれっ、尾崎家がない! どこへ行った?」。平成27年の新年が明けて間もなくのことでした。倉敷市加須山の帯江小学校そばの由緒ある庄屋尾崎家が、突然消えて更地になりました。かなり広い跡地はモダンな住宅団地に様変わりしてすでに11戸の家が立ち並んでいます。

尾崎一族四家の「西尾崎」で、18期尾崎春三さん(茨城県在住)の実家です。尾崎家は立派な表門から周囲を三十余

## 庄屋尾崎家が消えた!

瓦にわたり白漆喰壁の背の高い塀を張り巡らし、江戸期の風情を残す堂々たる庄屋の遺構を誇っていました。表門を入ると約2,800平方メートルの広大な敷地に2階建ての母屋、茶室、蔵が立ち、整った庭がありました。

尾崎家の先祖は中世、青陵の校歌に登場する福山(標高302m)の合戦に参加。江戸初期に加須山を拝領して移り住み、庭瀬藩帯江戸川家の庄屋になりました。加須山干拓を二十数年かけて完成させた加須山地域生みの親です。

庄屋の遺構は倉敷商業銀行(中国銀行の前身)を創業した第11代生三が、大正元年に兵庫県赤穂郡塩屋村(現赤穂市)

の親戚の家屋を解体、舟で運び移築したもので、築150年以上でした。地元に残った尾崎さんの姉2人が長い間、遺構の手入れ、管理をしてきましたが老朽化が進み、苦渋の決断をして売却しました。尾崎さんは「きょうだい5人



なくなる前の庄屋尾崎家の風格ある遺構＝倉敷市加須山(尾崎春三さん提供)

## 築150年以上、苦渋の決断

で再利用方法を検討しましたがが妙案が浮かびませんでした」と残念がっていました。帯江の文化財がひとつ消えてしまいました。

□…尾崎さんは在学中、山岳部とハンドボール部でした。尾崎家の詳細は倉敷市教委の地域機関誌「高梁川」第74号(平成28年12月発行)の「庄屋尾崎家が消えた!」(佐藤豊行)を御覧ください。

卒業生の著作物が学校に続々届いていきます。「同窓会だより 青陵」第47号で呼び掛けた効果もありません。先輩の力作は現役生への貴重なメッセージとなります。今後とも協力いただければ幸いです。

最近届いた著作物を紹介します。(順不同、名字の次内は旧姓、共著を含む、敬称略)

倉女35期・長谷川富喜恵「ふるさとの流れに寄せて」/青陵28期・長瀬(横尾)恵美「グレート・ギャッツビー」の言語とスタイル」/36期・姫崎由美「誰かが誰かを思うこと」/17期・楠戸彦「ドイツ

## 卒業生の著作物 寄贈相次ぐ

中世後期のスポーツウェアウグスブルクにおける公開射撃大会」/ドイツ中世スポーツ史研究入門」/井川勝一「勝一・スポーツの世界」/14期・江口(井川)勝一「妊娠高血圧症候群のすべて」/8期・國守卓史「大岡越前守蔵く福田新田訴訟記」/4期・池田(難波)邦子「しだれ紅梅」/4期・近藤大生「授業のメディア略説」(現代俳句断章)」/16期・林玲子「江戸と上」/「江戸店の明け暮れ」/「日本女性史」/家政科18期・羽原(小山田)和子「愛のとり」(筆名:小夏かずこ)」/2期・鴨川(吉田)恵美子「続:ふたりの完結」



## 52歳で転職、回転寿司店開く

鳥取・美保湾からの潮の香が心地よく匂う日本海側屈指の漁港・境港の近くにある回転寿司の店「大漁丸」。黒いキャップに黒いTシャツ、小さな前掛けをして従業員26人とともに忙しく働く人がいます。店のオーナー田渕英志さん（18期）です。

平成17年に境港店を開店。次いで二店目みなとさかい店を開きました。境港ならではのクロマグロやノドグロ、ベニズワイガニなど朝獲れたばかりの新鮮なネタを提供。他地域の店よりはるかに多い90品目を用意しています。

かつての1皿120円均一をやめ、大トロの400円台をトップ250円、180円、120円と品目をランクを付け。「鮮魚を食べるなら大漁丸」のキャッチフレーズを掲げています。

漁港だけあって魚好き、寿司好きのお客さんが多く、昼時と夕方には家族連れらの順番待ちができ、店内は活気づきます。

みなとさかい店を任せる後継者の次男喜弘さん（48期）を社長にして、自らは会長となって経営全般を仕切っています。創業以来11年。すっかり軌道に乗り年商は2億円です。



経営する回転寿司の店「大漁丸」の店前に立つ田渕英志さん

田渕さんがこの業界に入ったのは52歳。倉敷の物産会社に就職。早くから幹部候補と目され30年勤めましたが、部下の労災事故死の責任を痛感し自ら退職しました。知人のこの業界への紹介と支援で中年の遅い転職を果たしました。

剣道部で鍛えた田渕さん（三段）はどこでも元気です。寿司店経営にとどまらず、境港と米子の経済人を集め「山陰にぎわい創出プロジェクト」を立ち上げ事務局長として活躍。韓国やロシアなどの客船が寄港することから7カ国語のグルメ情報マップを作成。関西の外国人を呼び込もうと大阪市の商業関係者と連携して毎年大阪でイベントを展開するなど、地域おこしに力を発揮しています。

「いやあ、自分が寿司屋になるとは…」と笑う田渕さんは境港商工会議所常議員。「副会頭、会頭に、という話もいただいています、ゆくゆくは倉敷（真備町）に帰るため、ここに骨を埋めるつもりがないのでお断りしてるんですよ。それより鳥取、島根、大阪、さらに瀬戸内圏ともタイアップしてもっとも観光振興を進めたいですねえ」と、広域連携による地域活性化を見据えています。田渕さんは境港、いや鳥取商業界のリーダーになっています。

□…田渕さんの二男一女は全員青陵高校剣道部です。

境港商業界のリーダー

味・わ・い・深・い



評・判・を・呼・ぶ

## 美術館隣で「喫茶エルグレコ」

倉敷と言えば大原美術館、大原美術館と言えばエル・グレコの名画「受胎告知」です。その名画にちなむ憩いの場が美術館北隣にあります。美術館で絵を観たらエルグレコへ行こうが観光客の合言葉だそうです。

そう、「喫茶エルグレコ」です。同店を経営するのが長沼眞智子さん（21期）です。喫茶エルグレコは全国に知られる大原美術館とともに倉敷のランドマークとなっています。窓を覆うばかりのアイビーが壁面いっぱい伸びるおしゃれでアンティークな雰囲気の喫茶店です。

倉敷、県内はもちろん、その存在は全国に知られています。春と秋の観光シーズンを中心に、ほぼ年中、北は北海道から南は九州まで、さらに外国人らのお客さんが絶えません。

長沼さんが『40年前に新婚旅行で来た』とか『倉敷ならエルグレコへ寄ってみたい』と言われたというリピーター客がたくさんおられるんですよ』というほどの人気ぶりです。

大正14年に大原家の事務所として建てられ今年で91年。昭和34年に喫茶店に改装してオープンしました。大原総一郎さん（元倉敷紡績社長）が「美術館で絵を観た人たちがその余韻を楽しむように」というコンセプトで開店しました。



喫茶エルグレコのオーナーとして多忙な長沼眞智子さん

オーナーに抜擢されたのが長沼さんの母浦江さん。総一郎さんの父で美術館の創設者、孫三郎さんの秘書を務め、茶道と華道の指導者でした。その母から美大出身の眞智子さんがオーナーを受け継いで27年になります。

開店から57年。店内にはケヤキの大きなテラスがあり天井が高く、ゆったりくつろげる空間です。一角にオーナーと知り合いの倉敷ガラスや羽島焼など地元の特産品コーナーもあります。

食事のメニューはなく、昔ながらの純喫茶です。都会では「喫茶女子」の登場で復活の兆しがあります。ジュースや抹茶、トーストやカステラもありますが、オーナーこだわりのブレンドコーヒーとレアチーズケーキのセットが一押し。値段は合わせて950円（税別）です。

長沼さんは倉敷美観地区バリアフリー推進会議座長や倉敷市伝統的建造物等保存審議会副会長などの要職を務め、倉敷市おもてなしマイスター制度の立ち上げにも尽力するなど、倉敷の環境保全と観光振興に貢献しています。

年間350万人が訪れる全国屈指の観光スポット倉敷にあって、喫茶エルグレコの果たす役割は益々高まっています。□…長沼さんは青陵時代、生物部と美術部でした。

母から受け継いで27年



## 明治2年開窯 酒津焼窯元

6代目 岡本研作さん (26期)  
弟 岡本和明さん (36期) =倉敷市酒津=

やすい民芸調の仕上がりで、  
六代目の岡本研作さんは「初代末吉が鶴形山のふもと、戎町に阿知窯を築いたのが最初です。倉敷新田灘の粘土を使い、新田灘の粘土を萩から招きひねり方を窯の築き方を学びました。どことなく萩焼の雰囲気は今もありません。」「と話しています。  
その後、良質の陶土を求めて窯を高梁川西岸の酒津に移転して加武登焼、さら

を守る特別な思いはありませんが、兄としっかり看板を守っていきますよ」と話しています。  
□：酒津焼窯元は開窯140年を記念して平成21年、青陵高校など茶道部のある市内の主な高校に抹茶茶碗計140個を寄贈しました。



風格が漂う店先の看板

## 代々親子相伝、倉敷最古の焼き物

桜の名所・酒津公園の北、日本最大といわれる農業用水門・酒津浄水場のすぐそばにたたずむ古い建物が目にとまります。開窯147年、倉敷で最も古い窯元・酒津焼です。年季の入った店先の看板が長い歴史を物語ります。工房を兼ねた店舗に入ると、茶器や花器、食卓用品がずらりと並べられています。青や茶、緑色の模様。作りは肉厚で、釉薬もしつかりかかり丈夫そう。生活に和みと潤いを与え、溶け込み



作品の仕上がりが具合を話し合う酒津焼窯元の岡本研作さん(左)と和明さん(右)

に甲山窯の名前で継続。やがて地名から酒津焼と呼ばれるようになり、昭和初期に定着させました。不便な西岸から東岸の現在地に移転したのが昭和25年でした。  
代々親子相伝で伝統を継承しています。しかし研作さんは、「大学を卒業してから岐阜の陶磁器研究所で1年修業したので、父から直接教えてもらったことはないですね。相伝といっても口伝えも何もありません。『この家業を継げ』と言われたこともないし...』と苦笑いしています。  
五代目の父章さん(平成25年没)は作陶歴60年。倉敷陶友会を結成し長年会長を務め、全国陶芸展内閣総理大臣賞受賞、倉敷市文化章を受章し、全国陶芸展副会長を務めた輝く経歴があります。作陶歴36年の研作さんも現在、全国陶芸展常務理事と審査委員です。26年の経験を積む和明さんは「老舗

## 「倉敷の老舗」を訪ねて②

第47号からの連載『倉敷の老舗』を訪ねての第2弾をお届けします。今回は倉敷最古の窯元「酒津焼」と、市内で2番目に古い菓子製造「(株)橘香堂」を訪ね、老舗を保つ経営努力を通じて同窓生の活躍ぶりを紹介します。なお、倉敷市顕彰の感謝状は平成25年に受けています。(創業順)

### 明治10年創業 (株)橘香堂

吉本豪之 社長 (兄・15期)  
吉本耕三 専務 (弟・19期) =倉敷市阿知=

倉敷の銘菓といえ「橘香堂」の「むらすゞめ」か「むらすゞめ」の「橘香堂」か」と言われるほど有名です。倉敷市内の直営店はもとより、岡山、JR駅や大手ショッピングセンター、東京や大阪のデパートなどで販売。「大手まんぢゅう」「吉備団子」と並ぶ岡山三銘菓と言えらるでしょう。  
小麦粉と新鮮な卵を用いてクレープのように薄く丸く焼いた外皮を裏返して、厳選した北海道産小豆の粒餡を半円状に包み込んだ黄色の和菓子です。



倉敷銘菓の代表「むらすゞめ」

ぐ市内二番目に古い老舗を誇ります。初代吉本代吉以来、139年ののれんを守るのが四代目豪之社長(15期)と、補佐する耕三専務(19期)の兄弟です。豪之社長は「創業以来受け継いだ味へのこだわりを持って、今も熟練の職人が一つひとつ丹念に一期一会の真心で焼き上げています。かつてはもったいなかったんですが、時代が読みながら甘さを調整していきます」と力を込めます。「橘香堂」の「むらすゞめ」の名付け親は郷土の先覚者で初代屋屋郡

## 倉敷を代表する岡山三銘菓

長・林幸一。初代代吉が命名を依頼したものです。備中米の集散地だったことから、毎年お盆に豊年踊りが行われました。林は、踊る編み笠の群れが稲穂に群がるスズメと見立て菓子を「むらすゞめ」、菓子の祖といわれる橘の香りから屋号を「橘香堂」としました。「むらすゞめ」の形は編み笠だったのです。

明治時代から皇族が来岡するたびに所望され、内閣総理大臣賞など数々の賞に輝いています。豪之社長は「美観地区店の手焼き体験工房(有料)は人気があります。茶道各流派の『10月の菓子』に指定されているほか、テレビ番組のロケで芸能人がよく見えます。甘党の星野仙一さん(倉敷市出身)は一度に5個ペロリですよ。おかげさまで多くの方に愛顧いただいています」と感謝していました。



橘香堂の店頭立つ4代目吉本豪之社長=美観地区店

創業時代から代表的商品で、今も売り上げ全体の65%を占める不動の看板商品です。次いで、大きな栗をまるごと使った「栗まん」が7%。この2つで7割を超えています。年間販売額は6億4000万円に上ります。  
JR倉敷駅から美観地区へ向かう広い倉敷中央通りの東側を少し歩くと、創業地に立つ本店、さらに美観地区の入り口に美観地区店があります。この2店を含め6店舗を展開しています。創業は明治10年。「藤戸饅頭」に次



# 学校生活

生徒指導課長  
浅野 公典

現在、青陵高校は各学年8クラス、全校で約960人の生徒が在籍しています。そのうち約9割の生徒が部活動に参加し「文武不岐」の精神のもと、勉強と部活動の両立を実践しています。部活動では、漫画「ちはやふる」で話題になった「競技かるた」が同好会を経て今年度から新たに部として認められました。現在部・同好会サークルを合わせ計39の団体が活動しています。

## 同好会「競技かるた」が部に昇格

普段の活動は、3年前に平日の活動時間が最大延長で18時30分に改められ、限られた時間の中、顧問と部員が相談し効率よい練習を工夫しながら行っています。その中で、多くの部が県内での活躍はもちろんのこと、全国大会や中国大会へ県代表として出場するなど頑張っています。

今年度はインターハイ（高校総体）が中国ブロックで開催されました。岡山県でも多くの競技が実施され、補助員やボランティアとして運営に関わった生徒も多くいました。また、総合開会式で実施されたパフォーマンスには、本校のコーラス部が参加し大会を盛り上げました。平成28年9月末現在の部活動の主な成績は以下の通りです。

## コーラス部、総体開会式出演

## 主権者教育研究委員会委員長 難波 俊晴

選挙権年齢が満20歳以上から満18歳以上に引き下げられたことにより、平成28年7月の参議院議員選挙から満18歳以上の高校3年生が有権者として投票することや、選挙運動を行うことが可能となりました。マスコミ等でも高校生の動向に注目し盛んに報道されました。本校においても昨年から主権者教育に取り組んでおり、その成果を生かして有権者として政治に参加してもらいたいと思っています。

主権者教育に関わり、倉敷市選挙管理委員会事務局主催の「高校生の期日前投票所事務体験事業」に本校からも、倉敷市長選挙で4月18日、参議院議員選挙で6月27日に各2人が参加しました。このうち倉敷市長選挙では、投票に来られた方への案内と投票用紙の交付を担当しました。

## 18歳選挙元年

## 「試合と重なり期日前に行った」 事前に生徒ら事務体験

高校生の期日前投票所事務体験は県内では初めての試みであり、しかも体験事業の第1日目ということもあってマスコミが数多く取材に集まりました。体験終了後には生徒が取材陣に囲まれるという一幕もありました。



投票事務の体験をする青陵高生＝倉敷市選挙管理委員会提供

取材での受け答えを聞いていた倉敷市選挙管理委員会事務局の方からは、「さすが青陵生」とお褒めの言葉をいただきました。参加した生徒は投票を通じて社会参画することの大切さを再確認したようでした。

そして初の選挙、参議院議員選挙を迎えました。事前に校内では選挙啓発や選挙運動の禁止事項を連絡しましたが、投票日前に生徒から「当日は試合だから期日前投票に行ってきた」との言葉を聞き安心しました。

今年は選挙の年で、10月23日には岡山県知事選挙が行われました。校内では先の参議院議員選挙時よりも有権者が大幅に増えました。今後も政治的教養を育む教育を一層推進していきたいと思っています。

## 参議院岡山選挙区の18歳投票率45.34%

**18歳選挙権** 改正公選法により平成28年6月から、投票できる年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げた。18,19歳の約240万人が有権者に加わり、高校生の一部も含まれる。7月の参議院議員選挙が初の投票機会となり、岡山選挙区の18歳の投票率は45.34%だった。選挙権年齢の変更は終戦の昭和20年に「25歳以上」を「20歳以上」に引き下げて以来71年ぶり。18歳選挙権は世界的にはすでに8割超の国が実施。日本はやっと世界標準に追いついた。

# 若者の1票で日本を洗濯いたし申候！

### 【全国大会出場】

- バスケットボール部（男子）  
国体選抜へ1人出場
- 陸上競技部（男子）  
インターハイへ1人出場
- 棋道部（女子）  
全国高校将棋選手権大会へ出場（団体）
- 競技かるた部  
高校選手権大会へ出場（個人）  
全国総合文化祭へ出場（岡山県選抜）
- 光画部  
全国総合文化祭へ出場

### 【中国大会出場】

- ハンドボール部（男子）／テニス部（男子）  
／陸上競技部／水泳部／競技かるた部／弓道部

### 平成27年度末の主な教職員異動

昇格	転任	異動
指導教諭 教諭	岡山 東 教諭	難波 俊晴（在任）
	和気 開谷 教諭	藤澤 晃（二十五年度）
	玉野 光南 教諭	典毅（二十五年度）
	倉敷 鷲羽 教諭	村上 勝（二十三年）
	総社 南 教諭	船越 勝（二十八年）
	岡山 朝日 事務部長	市原 尚（二十六年）
		美術 英語

### サンフレは不動

### 難波氏、指導教諭に昇格

着任	退職
教諭（地歴公）	教諭（地歴公）
秋山 亮（新見・北校地）	廣谷 祐子（総社南）
佐伯 泰臣（岡山操山）	小坂 田郁生（笠岡）
大橋 賢二（玉島）	玉置 均（水島工）
杉野 正（井原）	
	調子 真澄（二十七年）
	国語



# 進路状況

進路指導課長  
三村美紀

東大・京大等  
難関国立大学

36人

国立大学  
医学部  
医学科

12人

岡山大学  
広島大学

90人

全国の  
国公立大学

260人

## 2016年入試

# 全国注目 過去20年最高成績

2016年入試の国公立大学の合格者数は260人（現役浪人込み）で、過去20年間を遡っても最多だった10年前を超える結果となりました。特に医学部医学科12人、難関大学36人、岡山大学71人の合格は全国的にも注目され、雑誌のランキング記事でも取り上げられました。これは、生徒の志望を高めてそれを貫かせる進路指導と自己実現に必要な素養を身に付けさせる教科指導を両輪としたキャリア教育の成果だと考えています。

教科指導については現在、学校を挙げて授業改善と指導力向上に努めています。今、21世紀型学力として求められているのは、個人としての知識量だけでなく、主体性、多様性、協働性といった相互の関係性の中で培われるものです。これらの力は、一斉講義型の授業のみでは身に付けることができないため、生徒の好奇心を引き出し、思考を活性化することができるような討議・発表等の活動を盛り込むように工夫しています。このような授業はアクティブラーニング型授業と呼ばれ、小学校から大学まで全国で盛んに研究・実践されています。10月27日には指導教諭5人がそろってアクティブラーニング型授業の公開と研究協議を行い、県内外から多くの先生方の来校がありました。

また、生徒に大学で自ら修める「学修」や将来の職業、生き方・在り方のイメージを持たせ、積極的な社会参画や社会貢献の意欲を涵養するために、大学や地域との連携力を入れています。外部講師による講演会や模擬講義、大学訪問や企業訪問の機会を充実させるとともに、今年さらには、青陵卒業から8年目になるOGを招いて、大学時代の生活や社会人になってからの仕事について語ってもらう会を新たに企画しました。8月22日はピースボートの通訳を経験した後、在ニューヨーク日本国総領事館勤務が決定したOG、11月12日には東京の大手商社に勤務するOBと香川の放送局でアナウンサーをしているOB、愛知の自動車メーカーに勤務するOGが後輩たちに熱いメッセージを伝えてくれました。講演の後の座談会でも質問が絶えず、生徒の視野を広げ、やる気を刺激する貴重な機会になったようでした。

若い先輩たちの活躍は生徒にとってよい手本になります。今後もこのような同窓生の皆様による講演会を継続していきたいと考えておりますので、ご協力いただける方からのご連絡をお待ちしています。

26歳の若いOGから大学時代の生活や仕事ぶりを熱心に聴く青陵生



## 主な大学の合格状況

難関国立大学	
東京大	1
東京工業大	1
名古屋大	1
京都大	8
大阪大	8
神戸大	11
九州大	6
難関国立 合計	36

国公立大学	
筑波大	3
千葉大	1
横浜国立大	2
静岡大	1
京都工繊大	2
奈良女子大	1
鳥取大	4
島根大	9
岡山大	71
広島大	19
山口大	7
徳島大	18
香川大	36
愛媛大	8
高知大	2
九州工業大	1
大阪市立大	2
岡山県立大	10
その他の大学	63
国公立 合計	260

国公立医歯薬系	
医学部・医学科	12
歯学部	1
薬学部	8
国公立医歯薬系 合計	21

岡山大学 学部別	
法学部	3
経済学部	10
文学部	8
教育学部	11
理学部	1
工学部	18
環境理工学部	4
農学部	1
医学部医学科	2
医学部保健学科	5
歯学部	1
薬学部	7
岡山大学 合計	71

主な私立大学	
青山学院大	3
早稲田大	5
慶應義塾大	2
明治大	2
中央大	5
東京理科大	7
同志社大	30
立命館大	70
関西学院大	36
関西大	22
近畿大	17
龍谷大	8
京都産業大	13
岡山理科大	24
川崎医療福祉大	13
ND清心女子大	76

## 新企画 若手卒業生を 招き講演聴く 講師募る

「夢はJリーグのレフェリング」

ら「ピッチ内のパトカーになれ」という貴重なアドバイスも、肝に銘じました」と、笑顔で収穫を語ります。

藤田君は幼少期からプレーヤーとしての実践経験を積み、審判の魅力にも注目。中学校で4級、3級の資格を相次いで取得し、「高校在学中に2級を目指しますが、難易度がぐんと上がるので、なかなか」と言いながらも、「将来は1級を狙います」とキッパ。チームでは守備の要センターバック（DF）で活躍。「憧れの2年先輩のいる強豪大学を目指します。サッカーに関わる仕事がありました。Jリーグの審判ができればいいですね」と、しっかりと将来を見据えています。藤田君の夢に向けた取り組みに期待します。

## 全日本小学生大会で審判 サッカー部・藤田育明君



## こぼれ話

また放課後、同校グラウンドに訪ねました。



さらりとした、いかにもサッカー選手！という爽やかな選手が現れました。

平成28年1月の寒い日、小学生の全日本サッカー大会（同27年12月、鹿児島）で審判員を務めたばかりの青陵高校サッカー部副主将・藤田育明君（2年生、現3年生）を、練習の始

審判の腕を磨く藤田育明君（青陵高校）グラウンド



# 絵

## 山口 隆也さん (10期)

第4のコース山口さん、お帰りなさい！

東京で長年高校教諭を務め、平成26年に73歳で死去した山口隆也さん(10期)＝東京都小金井市＝の遺作展が、同28年3月に6日間、岡山市内のギャラリーで開かれました。



ありし日の山口隆也さん遺作展の写真より

会場には「第25回国文化祭・おかやま2010」に出品、岡山県知事賞を受賞した「佛(翠)」をはじめ、中学時代から最近作までの抽象画の力作23点がずらりと展示されました。初日から同期生や美術ファンが大勢訪れ、遺作を鑑賞しながらありし日の山口さんのひととなりをしのみました。

倉敷市で育った山口さんは幼少時から洋画を学び、青陵高校から東京理科大学へ進学後も美術部で腕を磨き、昭和38年には行動美術展で入選を果たしました。

卒業後は理科(物理)教諭として東京立正高校(東京都杉並区)に就職。校長で退職後、病気と闘いながら個展を開き多くの展覧会にも出品。亡くなるまで絵筆を握り続けました。

郷里での遺作展開催には西山輝夫さん(東京都荒川区在住)を代表に、渡辺暉夫さん(総社市在住)ら山口さんの同期生が協力して実行委員会を立ち上げ、募金活動をして実現させました。

冒頭のアナウンス? 皆さん聞き覚えがあるでしょう。山口さんは教員時代、水泳部顧問

間でした。日本水泳連盟の役員として日本選手権水泳などで場内アナウンスを担当。昭和から平成に代わる前後の一時、冒頭のような選手紹介の独特のアナウンスが話題となりましたが、実は山口さんの声でした。

学校では、美術部顧問には先任がいたため未経験の水泳部顧問になりました。その水泳部から「金がいいです〜、で一躍有名になったシドニー銀メダリスト田島寧子ら3人の五輪選手を生む一方、選手を和ませる絵どころと遊びどころを合わせたアナウンスを心がけました。現在の大会は普通のアナウンスに戻っているそうです。

会場に駆けつけた妻桃代さんは「教員時代は土曜も日曜もなく教育に全力投球し絵筆は持ちませんでした。退職後から再び猛然と絵を描き始め個展を3回開き、最後の個展の最中に亡くなりました。絵が終生の友だったんでしようねえ。同級生の皆さんのおかげで立派な遺作展が開けて感謝しています」と、喜んでいました。

器用で多才な先生画伯のご冥福をお祈りします。  
□…山口さんは青陵時代に、師範級の弓道高段者の父の影響で弓道部を創設し活動しました。遺族と実行委員会の意向により遺作展の展示作品「佛」を青陵高校へ寄贈しました。

### 岡山で遺作展

### 同期生ら企画カンパして実現



山口さんの遺作が並ぶ会場に立つ西山さん(左)と渡辺さん(右)＝後ろの展示作品が「佛」

第4のコース山口さん、お帰りなさい！  
水泳アナウンス：多才な先生画伯

### 師・永瀬清子の地元で業績しのぶ



岡山詩壇で活躍したありし日の永瀬清子さん遺作展の写真より

日本の女性詩人の代表・永瀬清子＝赤磐市出身＝に才能を見いだされて頭角を現わし、岡山詩壇をリードした中四国屈指の詩人・高田千尋(17期)の業績をしのぶ企画展「詩誌『黄薔薇』のあゆみー永瀬清子から高田千尋へ」が、平成28年4月から7月まで永瀬の地元、赤磐市のくまやまふれあいセンター内「永瀬清子展示室」で開かれ、詩壇関係者や文芸ファンが次々訪れました。

「追悼・高田千尋」コーナーには作品の一部や詩集、新聞記事、ありし日の写真が並べられ業績をたどることができました。

高田は倉敷市役所勤務の傍ら、三十代で詩作を始めたものの昭和53年、詩作をやめるつもりで発刊した処女詩集『晴れた夏の日に』を永瀬に贈呈し

『黄薔薇』昭和27年、詩人・永瀬清子が女性ばかり6人で創刊。年3、4回発行し誌齢200号を超える岡山県内最古の詩誌のひとつ。同32年から男性同人も参加。創設メンバーの中桐美和子、なんば・みちこらは岡山詩壇で現在も活躍中。同人は高田千尋の青陵の先輩、山田(旧姓原田)輝久子＝3期、吉田博子＝13期＝ら岡山県内外の21人。会費は『黄薔薇』発行ごとに1万円。＝文中敬称略。

### 中四国屈指の詩人

## 高田 千尋さん (17期)



業績をしのぶ企画展の「追悼・高田千尋」コーナー

### 『黄薔薇』同人代表 岡山県詩人協会会長

た。これが思わぬ反響を呼び、永瀬に作品が高く評価されたのでした。「あなたと私は、詩と生活を同じくします。『黄薔薇』にいらっしやい」という永瀬の熱烈なラブコールで、永瀬の主宰する『黄薔薇』の同人となり、平成7年の永瀬没後には『黄薔薇』編集の発行人を担い同人代表を務めました。

永瀬を師と仰いだ高田は、『黄薔薇』への勧誘を「詩の何たるかを知らない(30歳の)若造に…」と、驚いたと言います。永瀬がキラリと光る高田の詩才を見抜いたのでした。

最後の詩集となった『冬に』で同26年、第14回中四国詩人賞を受賞、翌年には岡山県「2015年度岡山芸術文化賞準グランプリ」に輝きました。

『黄薔薇』編集人の明石久美子さん＝岡山市＝は「にがりのない素晴らしい詩風で、中四国でも名の知られた詩人でした。性格も、自分のことより人のために一というとても優しい人で、早く亡くなられたのがとても残念で、『黄薔薇』では衝撃が走りましたよ」と惜しみ、妻文子さんは「世の中の事象が(無関係なのに)全部自分に起因しているのでは…と思ひ悩む繊細さから清らかな詩を紡ぎ出す人でした」と、詩人・高田千尋をしのんでいました。

詩作40年。岡山県詩人協会会長を務め文字通り岡山詩壇を牽引しましたが、同27年、67歳で亡くなりました。これから一段と円熟味を増すという時期の惜しまれる死でした。ご冥福をお祈りします。＝文中敬称略。

□…高田さんは青陵時代、社研部でした。

# 詩

### 赤磐で追悼展



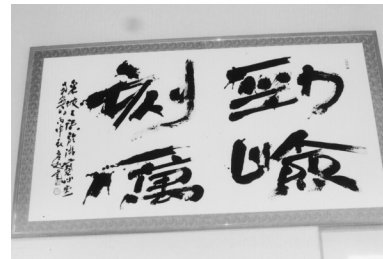
# 書

## 澤田 虚遊さん (71)

書道文化の向上に寄与しています。  
16年ぶり2回目の個展は、西日本唯一の書道専門学校創立40年記念も兼ねています。

澤田さんは現在、同書芸院理事長と同専門学校校長を兼務。そのほか、日本書芸院常務理事、岡山県書道連盟常任顧問（元会長）、岡山県美術展審査員など書道界の要職を務めています。  
平成22年には岡山県書道界から日展漢字部門では58年ぶりとなる特選、さらに24年に2度目の特選を果し、日展準会員となりました。

澤田さんは「書は『老熟の芸術、といわれ、他の芸術分野に比べ大成に時間がかかるとされています。書、人ともにいまだ道半ばです。山陽新聞賞受賞を励みに自己を見つめ自分の書を求めてさらに研鑽を積みます』と、気持ちを新たにしていました。  
□…澤田さんは青陵時代、山岳部でした／書作展の一品「勁嶮…」を青陵高校に寄贈、図書館に設置されました／平成28年5月には岡山市内のホテルで関



青陵高校図書館に設置された澤田さん寄贈の作品

西書芸院主催の山陽新聞賞受賞祝賀会を開きました／本紙の表紙揮毫者です。

## 岡山で山陽新聞賞受賞記念展



力作が並ぶ書作展会場の澤田虚遊さん

## 専門学校創設40年兼ね

平成28年1月に山陽新聞賞（文化功労）を受賞した書家の澤田虚遊（眞示）さん＝21期＝の受賞記念書作展が4月に、岡山市の岡山コンベンションセンターで開かれ、受賞をお祝いする関係者や多くの書道ファンでにぎわいました。

会場には行草体「覚悟」をはじめ木簡調「勁嶮…」、調和体「日暮れて…」など結晶度の高い洗練された作品30点が展示され、訪れた人は書業50年に及ぶ芸術の神髄を堪能していました。

澤田さんは7歳の折、書家の父虚舟さん（故人）の手ほどきで書を習い始め、青陵時代に本格的に開始。奈良教育大学で書を専門的に学び、現在まで日本書芸院会員で文化功労者の古谷蒼韻氏に師事して修練を重ねてきました。山陽新聞賞は父子ダブル受賞となりました。

父の主宰していた関西書芸院が昭和49年、財団認可を受け澤田さんも本格的に参画しました。さらに同書芸院で関西書道専門学校を運営し、書道教室の普及とその指導者の育成を通じ

## この道50年、 神髄に迫る

# 映画

## 高梁でスタッフ支援

## 今脇(陽造)啓子さん (24)

「今脇さん、消え物作ってよ」「えっ、キエモノ？ 何のことですか…」。

平成27年8月、ほぼ高梁市でオールロケを敢行した映画「家族の日」の撮影現場は暑さと熱気にあふれていました。元NHKチーフディレクターで、映画デビューしたばかりの大森青児監督＝岡山市出身＝の指示が飛びます。

うろたえる今脇(旧姓内田)啓子さん(24期)。キエモノとは料理のように消えてなくなるという映画・ドラマ用語。「まず、業界用語が分からなくてね、びっ

くりの連続でしたよ」と苦笑いしながら楽しかったスタッフ活動を振り返ります。

正式には製作補。無理もありません。製作スタッフはもちろん初めての世界で、「若いころから映画がとりわけ好きだったというわけではありません。夫と大森監督が岡山朝日高校の同級生でね。大森監督の『奥さん暇なら貸してくれ、お前は来なくていいから』という冗談に私が乗せられて参加したんですよ」というきっかけでした。

メインロケ地は高梁市内の古民家。17日間の撮影中は同市内のホテルに泊まったり岡山市内の自宅から「通勤、したりして連日ロケ現場へ詰めました。

「食事の場面で、役者の『こんなに大きくて』『こんなに

映画「家族の日」東京から田舎を求めて移住した5人家族の成長物語。伊原剛志と田中美里が主演、岸部一徳、平田満、大竹まことらが脇を固める。大森監督がNHK時代から付き合いのある「大森組」の演技派ぞろい。「面白くない映画は作らない」と自負する第1回監督作品。



映画「家族の日」のPRチラシ

## 台詞に合わせキエモノづくり



映画スタッフとして活動中の今脇啓子さん(右端)。左隣が田中美里、左端が大森監督。今脇さん提供

青い…」という台本の台詞を1行ずつ入念にチェックして、それに合わせて料理の腕を振るいました。

地元の主婦らに協力してもらいながら、ナス入りカレーとカボチャの煮物、豚肉とピーマンの味炒め、おせちのような田舎料理など3シーン分を作りました。

「行動力があって世話好き。スタッフにぴったりでしたね」と、大森監督の評判も上々でした。

編集が終わった同28年2月には、大森監督を伴って岡山県早島町役場の中川真寿男町長を訪ね、映画のPRと町内上映を依頼しました。今脇さんと中川町長は青陵の同期です。

映画は6月、岡山メルパでのロードショー(封切り)を皮切りに全国公開され、多くの観客を動員しました。

今後、岡山上映で鑑賞の機会があれば料理のシーンに注目してください！

□…今脇さんは小学校教諭、公文教室主宰、小学校補助教員を経験。2人の子どもは独立、現在は書道教室を開いています／今脇さんから今回の映画製作にあたり、「小宮幸久、神徳和幸、伊藤隆司、井上文雄の各氏をはじめ24期の多くの方々の協賛、ご支援をいただき感謝します」とのメッセージが寄せられました。

## 頼まれ料理3シーン分

# 青陵

高

等

学

校

陵

歌

!



24期「陵歌生」のお盆恒例の陵歌の集い

## ・・・20年以上続く陵歌の集い・・・

### バンカラの伝統守る24期生有志

丘に佇む」を歌えないという恥ずかしいところを見せてしまいました。

陵歌が最も盛んだった20期代。その中の24期「陵歌生」は青陵時代、旧制高校出身でバンカラの気風を持つ岩橋先生を顧問に昼休み毎日のように練習、文化祭で発表していました。余勢を駆って高梁川の河原に繰り出して高唱するほど熱心でした。大学時代を経て社会人になってからも付き合いは続き、お盆恒例の陵歌の集いに発展、定着しました。

24期「陵歌生」は現役時代36人いて、今でも多い時には20人ぐらい集まります。強い絆で結ばれ、大内直樹さんは「先輩の陵歌を歌う姿に感動したのが陵歌生になったきっかけです。陵歌を通して多感な時代に思いをひとつにしたこの仲間は人生の宝物ですよ」と、にこやかに話してくれました。陵歌の集い、永遠なれ!

陵歌 旧制高校の雰囲気を残す陵歌の存在は県内高校に例のない青陵の文化財。5期生仁科喜佐男さんが生みの親。その後、卒業生が毎年1〜3曲ずつ「寄贈歌」を残す伝統が生まれ39期までの30曲が確認されている。「陵歌生」という任意グループが歌い継いだ、その後、フォーク調に代わり廃れたといわれる。

思い出の青陵生活と記念歌をCDに収めたOBがいます。5年ほど前に青陵の学校生活をCDにしたのは、山陽放送OBの妹尾信秀さん(2期)と岡山市です。「砂漠の青春」県立倉敷中学校2期生の記録」と題し、終戦の年の入学から戦後の卒業までの思い出をたどった過渡期の倉中一青陵変遷史です。

間借りりの倉敷時代、砂漠のような環境の富井校舎時代の当時の世相、流行歌を挟みながら勤労奉仕、厳しい勉強、けんかや

### こぼれ話

間借りりの倉敷時代、砂漠のような環境の富井校舎時代の当時の世相、流行歌を挟みながら勤労奉仕、厳しい勉強、けんかや



「桜花爛漫」①と「砂漠の青春」②のCD

### CDを作り母校へ寄贈

妹尾 信秀さん(編)「砂漠の青春」  
仁科喜佐男さん(編)「桜花爛漫」

恋愛などエピソードをふんだんに盛り込んだ青春物語となっています。妹尾さんが構成、同僚の岩根宏行アナウンサーの軽やかなナレーションで進行し約25分にまとめています。同期の大森啓作さん(故人)が、かつて地域機関誌「高梁川」第53号に発表した「青陵高校誕生記―昭和一桁生まれの青春」の音源版といえます。「我、仁科喜佐男は傘寿に近くなり、若き日に作りし稚拙なる歌を録音し...」。青陵名物「陵歌」生みの親で会社経営仁科喜佐男さん(5期)倉敷市でも平成27年10月、傘寿記念に、陵歌不朽の第一作「桜花爛漫」をCD化しました。桜が満開の写真を使用した美しいジャケットに入っています。冒頭のナレーションの後、代楽曲「桜花爛漫」のほか、編曲した「酒、歌、煙草、また女」、愛唱歌「アルト・ハイデルベルク」など4曲を自らソロで情感豊かに歌い上げています。同年12月16日の傘寿の祝宴で出席者に贈って喜ばれました。二点とも青陵の校史の一ページを物語る永久保存版です。二人はCDを青陵高校図書館に寄贈しました。

## 東京五輪候補に新星!

岡山大3年

中尾駿一選手(65期)

## 日本学生水泳50自V

日本学生水泳選手権が平成28年9月2日、東京辰巳国際水泳場で開かれ、男子50自自由形に出場した岡山大3年中尾駿一選手(65期)が22秒15の中国新記録で見事、初優勝を飾りました。イナカで岡山大勢初の栄冠をもたらす快挙でした。4日には、自由形とともに得意とする100自背泳ぎも中国新記録で2位に入りました。

## ニュース速報

続く11日、2016いわて国体の成年男子50自自由形で22秒30を出して優勝した日本記録保持者でリオ五輪代表の第一人者、塩浦慎理選手(神奈川)に0秒06差まで迫りました。182センチの長身スイマーは今季、持ち前のスプリント力を磨き、泳ぐたびに記録を伸ばし、一躍

岡山水泳界のエースに躍り出ました。青陵高時代の水泳部顧問・木村淳二教師は「在学中から全国レベルの選手で、インナーハイのベスト8クラスでした。岡大に進学してから急速に力をつけたようで、努力次第で4年後(東京五輪)が狙えるんじゃないでしょうか。企業の公式スポンサーがつくという噂も聞いてますよ」と、教



## 会員ニ点描

(平成27、28年／現役を含む)

- [受賞・受章] \* 岡山県議会議員の渡辺英気さん(26期)が平成27年11月、全国都道府県議会議長会自治功労者表彰を。20年の永年勤続。現在6期目で議長も経験しました／同28年6月、倉敷市議会議員の雨宮紘一さん(11期)が全国市議会議長会表彰(議員25年以上)で、藤原(現姓鳥井)薫子さん(44期)が中国市議会議長会表彰(議員8年以上)で。
- \* 青陵1年生山下葵さん(現2年生)が同28年2月、おかやま新聞コンクール「新聞感想文の部」で優秀賞を。作品は、声を失った音楽プロデューサーつくさんの「命がひとまずあれば、やるべきことはやれる」との談話に、「目の前のことからすぐに逃げるな」と言われた気がして、前向きに生きることが私たちの使命—とつづりました／青陵高校が学校を挙げて熱心に取り組み、特別賞を受けました。
- \* 練尾全保さん(14期)が4月、危険業務従事者叙勲で瑞宝双光章(警察功労)を。津山署長などを務めた元岡山県警警視正です／難波正義さん(5期)が4月、春の叙勲で瑞宝重光章を。元新見公立大・短大学長。岡山大学医学部長から同短大へ。四年制大学への改組を実現しました。8月、岡山市内のホテルで祝賀会が開かれ、県内の政財界や医学界などから約110人が出席し祝福しました／山下滋さん(青陵第17代校長)が11月、秋の叙勲で瑞宝小綬章を。
- \* 中村泰典さん(21期)が立ち上げ、代表理事を務めるNPO法人倉敷町家トラストが8月、福武文化賞の文化奨励賞を。町家の再生・活用、景観保全活動が評価されました。同トラストには中村さんの同期を中心に理事や会員に多くの青陵同窓生がいます。
- \* 青陵2年生川内七海さんが9月、倉敷市が男女参画をテーマに募集した4コマ漫画で2年連続最優秀賞を。いずれも夫婦円満で温かい家庭を表現した作品です。
- \* 倉敷市大山名人記念館長の北村実さん(3期)が11月、同市文化章を。故大山康晴15世名人とともに将棋の普及に努め、女性将棋の公式タイトル戦「大山名人杯倉敷藤花」の開催に貢献しました。
- [演奏会・受賞] \* 倉敷市民合唱団が小山裕章さん(元在職教員)の米寿を記念して同27年10月、倉敷公民館で同合唱団演奏会を。小山さんは同合唱団を五十数年指導しています。

青陵高校では音楽担当教諭として28年間勤務しました／その功績が認められ同28年5月、岡山県の岡山芸術文化賞グランプリを受賞しました。

[優勝] \* 棋道部の将棋・青陵男子Aが同28年7月、岡山県高校夏季将棋大会の団体で。メンバーは出口晋太郎君、小玉恵太君、野町篤志君の3人。女子個人では中野由梨さんが制覇しました。いずれも2年生／中野さんは10月の岡山県高校秋季将棋大会でも優勝しました。

[傘寿] \* 仁科喜佐男さん(5期)が同27年12月、倉敷市の水島で祝う会を開き、友人や経営する会社従業員ら約150人が出席。作詞・作曲した陵歌第一作「桜花爛漫」を自ら歌い上げました／赤木(旧姓武内)亥久子さん=4期=が同28年6月、早島町で記念コンサート「感謝を込めて愛を詩う」=写真=を開催。「私のパリ」や「枯葉」「ラストダンスは私に」などシャンソンを中心に18曲を披露しました。歌の趣味20年。早島小学校の管理栄養士(岡山県職員)でした。



[作陶展] \* 酒津兜山窯の岡本達弥さん(44期)が9月、天満屋倉敷店で。花入れや茶わん、食器類など約100点を展示しました。

[共著] \* 中山薫さん(元在職教員)が7月、日本文芸出版の岡山文庫「真備町歩けば」を、他の2人と刊行。ウオークのルートと史跡を紹介しています。1冊972円。

[寄託] \* 青陵高校生徒会が2月、「社会福祉事業に役立てて」と、浄財1万761円を山陽新聞社会事業団へ。同27年9月の青陵祭模擬店の収益の一部です。さらに同28年5月には熊本地震災義援金2万7958円を山陽新聞社会事業団へ／青陵高校同窓会が6月、熊本地震災義援金10万円を南阿蘇村へ／鴨川(旧姓吉田)恵美子さん=元在職教員=ら2期生女子が10月、同期会の残金を金一封として青陵同窓会へ。

[お知らせ] \* 本紙「同窓会だより 青陵」の第43号～47号の紙面が、4月からインターネットで閲覧できるようになりました。「青陵高校同窓会だより」で検索してください／青陵高校同窓会(加川英郎会長)は5年に一度改訂する同窓会名簿を、同30年に創立110周年記念として発行することを決めました。改訂作業にかかりますので会員皆様のご協力をお願いいたします。1冊3,500円の予定です。

## 今後の予定 本部総会

平成29年8月6日(日)  
午前10時から  
倉敷アイビースクエア  
(当番幹事)1と2の付く期と  
本年度の卒業生(68期)

## 東京青陵会

平成29年6月17日(土)  
午後3時から  
東京・明治記念館

## 近畿青陵会

平成29年5月28日(日)  
正午から  
大阪・太閤園

## 九州青陵会

平成29年10月21日(土)  
午後4時から  
福岡・西鉄グランドホテル

## 編集後記

●分子生物学者の京都大学教授・森和俊さん(28期)の評価がさらに高まっています。学術界の最高峰・日本学士院賞、その中の最高位・恩賜賞をダブル受賞しました。ノーベル賞候補になって3年。平成28年10月のノーベル賞の発表日には青陵高校校長室に昨年と同じマスコミ8社が殺到=写真。恒例行事、となり、緊



張感に包まれました。森さんへの期待は高まる一方です。受賞は来年以降のお楽しみとなりましたが、世紀の瞬間が待たれます。

●第47号発行の後、今年正月明けごろから取材依頼が舞い込むようになりました。同窓生全員配布を始めて5年。「同窓会だより」がじわり浸透し、よく読まれるようになったかな、と意を強くしています。発行協力金もコンビニ振り込みを始めてから少しずつ協力者が増えています。同窓生の絆を深めるツールとご理解いただき、納入をお願いいたします。

●写真の件でお願いです。同期会などの写真がなかなか入手できません。編集上、写真は1枚で記事の何十行にも相当する「優れもの」です。仕方なく新聞掲載写真を代用していますが、鮮明でなく違和感もあります。見た目も美しくありません。写真データでもプリントでもかまいません。各期の幹事さん、写真の重要性に目を向けて準備していただくと助かります。記事と広告の締め切りは毎年9月末です。厳守してください。(S)

## 岡山県立倉敷青陵高等学校「同窓会だより 青陵」第48号

発行 岡山県立倉敷青陵高等学校同窓会  
[事務局] 〒710-0043 倉敷市羽島1046-2  
TEL:086-422-8001 FAX:086-422-8004  
e-mail: seiry05@pref.okayama.jp  
URL: http://www.seiry0.okayama-c.ed.jp

発行人 加川英郎(4期)／編集委員 今岡道雄(13期) 佐藤豊行(18期) 林俊輔(28期)  
清水建吾(サラト)

印刷 株式会社サラト 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172

お願い 同期会や同窓生の情報を事務局の林(青陵高校教諭)へお寄せください。

平成28年5月21日、生徒の進路選択の参考に「大阪大学訪問」行事を行いました。校長、教頭ら教員、生徒の計87人がバス2台で豊中、吹田の両キャンパスを訪問。総合学術博物館やレーザーエネルギー学研究所を見学、学生食堂で昼食をとるなどキャンパスライフを体験しました。以下は同研究所で感じた一生徒（1年男子）のレポートです。

理科系志望サポーター事業「大阪大学訪問」に参加し、豊中キャンパスや吹田キャンパスにあるレーザーエネルギー学研究所等を訪れたことで、大阪大学での学校生活を肌で感じ、最新の実験施設を間近に見ることができました。とても印象深い見学になりましたが、その中でも特に心に残っているのが、私たちにレーザー研の説明をしてくださった青陵高校卒業生の白神宏之教授(26期)の「いくつもの企業を巻き込んで大規模先端研究を行うと、結果的に、携

白神教授からレーザーエネルギーの研究内容の説明を聞く青陵生



## 青陵生、阪大レーザー研見学

### 白神宏之教授(26期)の説明に納得

レーザーエネルギー学 太陽の大強度エネルギーを核融合により熱エネルギーとして取り出し、発電機のタービンを回しエネルギーを生む研究。化石燃料に頼らない究極のエネルギーとなる。



大強度レーザー発生装置を熱心に見学する生徒ら

「白神先生のお話では、レーザー研の「激光XII号」は多くの企業の協力の下に完成し、当時最高のレーザーとなりました。それと同時に、日本のレーザーを開発する技術も世界最高のものとなったそうです。これを聞いて、企業を巻き込んだ大きな研究(プロジェクト)はその専門分野だけでなく、他の分野や産業にもプラスの影響を与えることが可能だということを知りました。多額の予算を必要とする研究が批判される光景をテレビ等で目にするところがありますが、私たちが科学研究はあり一つの分野にのみ貢献するのではなく、多方面に良い影響をもたらすということを念頭に置いて、こうした課題について考えていかなければならないと感じました。今回の訪問で得た新しい「視点」を活用しながら、様々な研究・活動を促していきたいと思えます。

昭和44年に新調した同40〜50年代の制服。青陵創立100周年記念誌より



母校の制服の今のは?



平成12年に一新した最近の制服=

「青陵SCHOOL GUIDE2017」

より

### 昭和 白線2本の制帽、膝下スカート丈

昭和20〜30年代は男子は学生服に、周囲に2本の白線の入った制帽、女子はセーラー服でした。同44年に新調。40〜50年代の男子は変わりませんが、そのころ制帽を廃止しました。

女子の冬服はスーツ、合服は白のブラウスにジャンパースカート、夏服はブラウス。いずれも膝下のスカート丈に白の短いソックスを履きました。

### おしゃれ女子 22通りの着こなし 平成

平成12年に戦後3度目? となる制服一新。特に女子はおしゃれ感覚をアップしてイメージチェンジしました。冬服はスーツ、合服はベスト、夏服はブラウスに、いずれもネクタイ、リボンタイを導入。スーツには珍しい六つボタンが付いています。膝丈のスカートに白か濃紺のハイソックス。冬用セーターやサマーニットベストなどを組み合わせ22通りの着こなしを楽しめます。

同27年、男子にもセーター着用が認められました。セーターは男女とも紺色のVネックに校名の「KS」のエンブレムが左胸に刺繍されています。

### 伝統のシックな濃紺のベース不変

最近話題性の高い制服を採用する高校もありますが、青陵の女子はデザインとともに、伝統のシックな濃紺のベースに変わりはありません。ベテランOGさん、街で先輩を見かけたら笑顔で声をかけてあげてください。

最近の母校の制服が(街中で)よく分らない。記事にして載せてもらえないでしょ?。本部同窓会の準備会議の席上、ベテランOG? から要望があり、早速制服の変遷を取材しました。決して変なオジサンのお話ではありません!

